

活躍している同窓生

高校時代の思い出と 母校への思いと期待

10代の後輩たちに贈るたった一つの質問

(株)フジテレビジョン 木村拓也(高60)



皆様、こんにちは。2009年卒の木村拓也と申します。

諸先輩方もいらつしやる中、僭越ながら後輩たちにもメッセージをお送り致します。

自己紹介を致します。境高校を卒業後、法政大学へ進学。その後、フジテレビに入社しています。めざましテレビ、夜の報道番組のキャスター、中継コーナー「木村拓也の上を向いて歩こう」を経て、夕方の報道番組の現場キャスターを務めています。

卒業から10年近くが経ちますが、まだ27歳です。皆



さんと年齢的にそう変わりません。高校時代はどうだったかといいますが、いたって普通の学生でした。野球部に所属し、1番、サード、左打ち。昼休みはグラウンド整備をして部員と昼食。夜遅くまで練習したおかげで、授業中はずいウトウト。制服の第一ボタンを外してみたり、少し腰パンをしてみたり、通学用バイ

クをちよつぱり改造してみたり。ほら、皆さんと変わりませんよね？笑

そんな私も今は情報の最先端を追いかけ、各地を奔走する刺激的な仕事をしています。この原稿もサッカーW杯の取材のため、ロシアで執筆しています。一方で、アスリート、芸能人、政治家、経営者など、第一線で活躍する方たちと触れ合う機会にも恵まれていま

そういつた日々の中で彼らとの「違い」を肌で感じる点があります。彼らに共通している点は「全力であること」です。当たり前と感ずると思いますが、想像を遥かに絶します。あなたの周りにいる友人、知人で努力している人を想像してみてください。その人の数倍の努力を平気で行います。彼らは自分の努力を少しも恥ずかしいと思いませんし、むしろ誇りに思っています。

だからこそ、高校時代に「全力で向き合うこと」から逃げないでください。暑苦しかったり、かつこ悪いと思ったり、全力で向き合

うことを笑う人もいるかもしれない。でも、自分で決めた全力のその先に想像もしない素敵な世界が広がっています。

では、最後に恩師から頂いた、私がとても大切にしている質問を皆さんに送ります。

「あなたは今、本当に全力ですか？」

毎日、自分に投げかけている質問です。恥ずかしな

がら、言い訳したくなる時も少なくはありませんが、自分の夢を叶えるために逃げずに向き合い続けています。

あなたが日本を代表する人材として活躍しているその時は、僕がインタビュアーとして素敵な人生談を聞かせてください。全力のその先の世界でお会いしましょう。

活躍している同窓生

何事も全力で(在校生諸君へ)

現有限責任あずさ監査法人 小木将貴(高62)



私は2011年3月に境高校を卒業し、国立大学へ進学後公認会計士試験に合格し、現在は公認会計士として働いております。

皆さんは、公認会計士という職業をご存知でしょうか。

か。退屈で長くなってしまうので、詳細については説明しませんが、医師・弁護士と並び、日本における3大難関国家資格の1つと言われていると思います。もしお暇があれば、ネットで検索してみてください。

私がこの公認会計士試験に合格することができたのは、境高校での高校生活があったからこそであると、確信をもって言うことがで

きます。境高校に在学していた時代には、部活も勉強も、時には遊びも全力で取り組みましたし、そうできる環境がありました。どんなに困難な目標を立てても、決して私の力を否定せず、全力でサポートしてくれる仲間や先生方がいたからです。そのおかげで大学も国立大学へ進学することができましたし、「どんな目標であつても、何事も全力で頑張れば達成することができるといふ自信につながりました。

公認会計士試験では、自分なんかよりもっと素晴らしい大学を卒業したような、とても頭のいい人たちと同じ舞台で戦わなくてはいけません。しかし、境高校で学んだ、「何事も全力で」をモットーに、そんな人たちにも負けないように努力し、最終的には夢をつかむことができました。皆さんが高校を卒業し、大学へ進学するか、あるいは就職すると、本当に多様な人と出会うことになる

思います。そのような環境でも、自分の夢・目標を達成するためにはたゆまぬ努力を続けなくてはなりません。今は想像ができなくても、あの時頑張っていたよかつたと思えるよう、部活も勉強も、時には遊びも全力で頑張ってください。今現在夢や目標がなくてもいいと思います。私も結局高校生の頃に描いていた夢や目標とは結局違う道を進んでおりますが、後悔はしていません。将来社会に出たときに多様な人たちと戦っていけるような土壌を作るために、高校生活は非常に重要だと思えます。

そのような高校生活を、この境高校で送れる皆さんは幸せ者です。利用できるものは何でも利用し、最高で悔いのない高校生活を送ってください。



多士
済々

伝統を守り、想いをつなぐ

—塚崎の獅子舞—

香取神社櫛宜 宇都木とし子 (高26)



私が高校生の頃通っていた通学路の途中には、広い長井戸沼の水田が今と変わらず広がっていました。その西側のほとりに、私の奉仕する塚崎の香取神社があります。南から長く伸びた参道の先。今年建て替えられた社殿は木立ちの中にたえずみ、水田から吹き上げる東風で夏はとても涼しく、静かで身も心も洗われるようです。

神社の歴史は古く、文献では室町時代とも言われ、県の無形文化財に指定されている獅子舞があります。「獅子講」という特別な集団で、手から手へと伝えられてきた舞です。獅子舞は、一人の人が獅子人頭(ししひと)に扮し、男獅子・中獅子・女獅子と

三頭(みかしら)登場します。それぞれ木綿の単衣に袴をつけ、おらじを履いて前に小太鼓をつけ、篠笛に合わせて舞を舞います。戦争中も途絶える事なく続いてきたという舞は、地を這うようなしぐさが多いのが特徴です。大地を力強く踏みしめる足元からは、篠笛の音色と共に先人達の心の響きが伝わってくるようです。

三頭の獅子は、家庭や地域の和を表していて、先人達が家庭や地域は常に仲良くこうあつてほしいという想いを、この舞に託し教え導いてきたのだと思います。

この獅子舞は、境高の同級生のつながりから、今年県主催の郷土民俗芸能のつどいに出演することになったのです。地域の人達と共にとっても喜んでいきます。

文化財を守っていく事は大変です。舞や笛を伝えるだけでなく、役員の人達は、

獅子や太鼓、笛や着物なども管理していかねければなりません。大勢の人達の協力や理解があつてこそ、文化財を地域の宝として伝えていけるのです。

境高も今年90周年。多くの人達が学び、巣立ち、地域に社会に貢献し活躍しています。そして、今、これから新しい歴史を作る後輩の皆さんがいるから、私達は還暦同窓会で40年ぶりに友人達に会い、今につながっています。とても感謝しています。

ふつと気づけば田植えのすんだ水田。何げない日常ですが、私も自分に与えられた役目を誇りに思い、つぎの世代に「想い」をつないでいけたらと思っています。



思い出

弓道に明け暮れた高校時代

鈴木 壽 (高26)



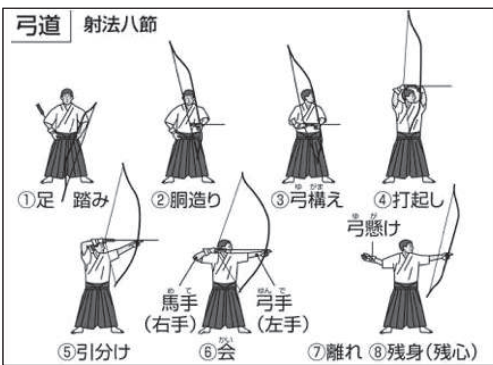
出会いでした。

私達が入部した頃は、弓道部はまだ愛好会でした。

1970年、大阪万博が開催された年、私は入学しました。まだ南西の角に木の造の2階建て校舎があり、1年生はそこに入りました。制帽をかぶり、新鮮な気持ちで高校に通ったことを、今でも覚えています。でもその年の生徒総会で、制帽自由化が決議され、驚きました。高校とは、なんと生徒の自主性を尊重する所なのだろうと、誇らしくも感じました。

高校で入る部活を探している時、長い棒を持った上級生が、体育館の脇を歩いて行くのを見ました。あれは何だろうと思ひ、その上級生に尋ねたら、「弓道をやっているんだ。見に来ないか」と言われ、後について行ったのが、私と弓道との

出会いでした。私達が入部した頃は、弓道部はまだ愛好会でした。道場もなく、以前あった農業科の畑跡の、篠竹の生い茂る場所で、弓道部の活動が始まりました。毎日鎌を握り、射場作りです。篠竹はやかいで、手に豆を作り、大汗をかいて、先輩達と共に開墾した事を懐かしく思い出します。やつとで来た、土を盛り上げただけの射場で、運動靴を履いたまま、練習しました。担当の北島先生、宮田先生、中内先生が熱心に指導して下さいました。はじめはうまく引けなかった弦が、練習を重ねるうちに、少しずつ引けるようになり、飛距離が伸び、的に当たるようになっていきました。毎日、楽しくてたまりませんでした。



乗し、毎年参加してました。那須与一を偲んだ大会で、舟の上の扇の的をねらいます。的がゆらゆら揺れるので難しいです。矢が皆中すると、記念に扇を頂きます。その扇を頂けたのはとても自慢でした。

弓道部は、私達が3年の時、晴れて部に昇格し、県大会にも参加できました。初めての県大会。皆、張り切って臨みました。すると、私達は皆ジャージ姿なのに他のチームは皆袴姿で、驚いたことを覚えていますが、結果は散々なものでしたが、良い思い出です。

今も、その当時の仲間に出ると、その頃の話で盛り合えます。人との付き合い合います。境高も90周年を迎える伝統校として県西地域にその勇姿を示しており、その卒業生の一人として誇りに思っています。



警察官役の筆者

私達は今から半世紀以上前の昭和31年の入学生でちょうど30周年記念前後の頃でした。当時、学校としてはその記念事業として大々的な文化祭開催の予定があったようでした。入学後間もなくより希望者に対し、受験の為の補助授業が週3回程あったと記憶しています。私もなみい

思い出

演劇部の思い出

秋元秀夫 (高11)



い方、一つ一つ積み上げていくことの大切さ、何かをやりとげた喜び。皆、高校時代に学びました。高校は、自分を磨き、大

切な何かを探せる場所です。どうか、先生方や仲間達と共に、自分だけの特別な何かを見つけて下さい。

る秀才に混じって受講しておりましたが、ある日3年生の先輩が3名程で補助授業前に現われ、1年生3名が呼び出されました。それは中学校での学習発表会(学芸会?)の経験者でした。そうです3年生は演劇部のスカウトだったので

男子部員が不足しているの
で勧誘に来たのでした。全
員が断ったのでは申し訳な
いと思い、私だけが渋々入
部を承諾してしまいました。
部活では夏休み前から脚
本が2冊用意されていて、
もちろん男子部員は全員が
キャストイングされ、坊主
頭から髪をのびし始めまし
た。当時は長髪禁止の時代
でしたので、トイレ等に行
く度によくにらまれていた
ものです。

私が演じたのは八木柊一
郎脚本の「にせあかしや」
という題名で、その役は天
ぶら職人であり、敬けんな
クリスチャンであり、障が
いを持つたり不良っぽい子
もいる3人の親として生き
る男の、いわゆる「家族の
人間模様」というなかなか
難しい内容を持つものでし
た。特に苦勞をしたのは原
稿用紙にすると2枚程にな
る独白場面の長セリフでし
た。淀みなく完全マスター
するまでは何日も何日も必
要でした。しばらくの間は
本当に夢にも現れたもので



木村桂一先生を囲んで

す。
まだまだ半分は子供の領
域を越していない我々を上
手に指導されたのは、英語
科の木村桂一先生（のち古
河三高初代校長）及び石田
安伸先生（現土浦市にてご
健在）のお二人の顧問でし
た。厳しくも優しく熱心に
教えていただき本番は大成
功をおさめ、PTA総会な
どでアンコール公演までさ
せていただきました。私が
在学中の3年間では演劇部
として数回の公演をこなし
たことになる訳で、本当に
演劇部ドゥプリだった感の
高校時代が思い出されます。

ペットボトルの キャップで壁画

境高生が制作

境町にある境高校の生徒
らが地域の清掃活動などで
集めたペットボトル約64
00本のキャップを使い、
1年生約240人が2日、
縦横約3メートルの壁画を
制作した。写真。

テーマは「百花繚乱」。美
術部員がデザインした原画
を基に、かぶとをかぶった
女性の横顔を緑や赤、黄な
ど11色のキャップで描いた。
生徒会長で3年の田村唯
斗さん（18）は「地域清掃
活動からできた壁画。これ
からの境高の伝統にしてい
きたい」と話した。

【鈴木加代子】

ペットボトルの
キャップで
壁画作成



毎日新聞
H29.6.3掲載

賛助金の報告とお願い 同窓会役員一同

蛍雪会報の発行も今回で第4号となりました。創刊号以来、会報発行の費用（賛助金）について、会員の皆様からご協力をいただき感謝申し上げます。創刊号以来の賛助金についての収支報告は別表の通りです。

創刊号は、5400部発行し、一人1000円以上の賛助を募り、250万円が集まりました。第2号は、一人1000円に限定し、全会員15000余人に送りました。1400人弱のご協力にとどまり、金額は150万円余でした。第3号の時は、やはり全会員に送り、発行費1000円と協賛金を募りましたが、協力者1100余人、発行費と協賛金合わせて160万円に止まりました。

そのようなわけで、先ず、今回ご協力いただいた160万円については、全額会報発行費に充てさせていただくことをご了承いただきたくお願い申し上げます。

それから、今後についてですが、全会員への発送は

経費の関係で難しいので、しばらく、お届けする対象を次のように限定しようと思えます。

- 1、現・旧職員。
- 2、これまで一度でも、賛助金をお送りくださった方。
- 3、今回（第4号）は奇数回の卒業生。（次回は、偶数回生）

※ 今年、総会に招待する学年。

また、賛助金については、次のようにしますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

- 1、一口 **2000円**
- 2、2000円以上ご協力くださる方は、（口数単位でなく）いくらかでも結構ですので、お願ひできればあります。
- 3、第3号で提案した、協賛金については、しばらく休止し様子を見て、条件が整えば再度提案します。

	創刊号		第2号		第3号	
	金額 (円)	摘要	金額 (円)	摘要	金額 (円)	摘要
収入	2,532,000	781名	1,526,000	1,379名	1,622,800	1,162名
			1,768,000	前回残高	948,000	前回残高
支出	186,000	印刷	収入計	3,294,000	収入計	2,570,800
	578,000	封入・発送	支出	548,000	支出	644,000
支出計	764,000			1,773,000	封入・発送	1,710,000
				25,000	雑費	
残高	1,768,000		支出計	2,346,000	支出計	2,354,000
			残高	948,000	残高	216,800

同窓会報 賛助金 収支報告

境中の歴史あれこれ

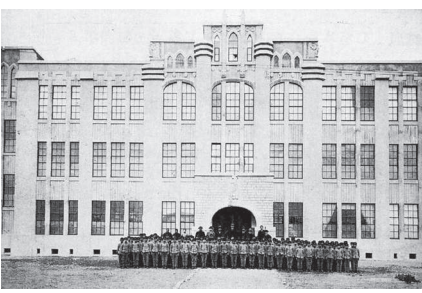
境中創立のころ

石川 峰吉 (旧職員)



第1回 入学検査は、昭和3年3月28日から3日間行なわれた。210余人の志望者から104人を入学許可。4月8日、郡農会事務所の2階で入学式を挙行了した。待望久しかった学校の第1回入学式であるから、新入生は勿論、附添い父兄の喜びもまた格別で、お互いの会話の中にそれがあつた。校舎はまだ建築工事中であつたから、元郡役所庁舎であつた自治館と元郡会議事堂であつた建物を仮校舎に充て授業を開始したのであつたが、運動場はやつと庭球コートが1つとれるだけ、新しいものは生徒の机と腰掛だけ、あとは全部借物、香取先生の指揮で蜘蛛の巣を払い、これを排除しての開校準備、これも今は想い出の1つであつた。

この仮校舎で約8ヶ月を過ごし、その年の12月新校舎が完成移転、8日から3日間新校舎を開校。お茶と塩せんべいの接待で一般の方々に参加してもらつた。経済不況が影響したのか、校舎竣工の祝典は遂に挙行されずに終わった。3日間の公開参観が、校舎竣工のお祝いということになつてしまつたのである。その後運動会その他の学校行事に、雨とか風とか、天候に恵まれないことが多かつたので「竣工式をやらなかつたからだ」などと、よく冗談をいわれたものである。(40周年記念誌より、一部抜粋)



昭和3年12月7日完成
当時白亜の殿堂といわれ、鉄筋コンクリートの校舎は、県下でも2校だけで、毎日見物者が絶えなかった。

賛助金協力者芳名

7月1日現在
()内旧姓

Table listing names, amounts, and birth years of donors. Columns include name, amount, and birth year. Donors are listed in vertical columns across the page.

木村清一郎	高7	富張眺一	高9	鶴見亨	高11	有原壽和子(森嶋)	高12	稲村久子(浅井)	高14	猪瀬勝衛	高15	五ヶ谷榮
黒沢隆司	高7	中山貞夫	高9	徳田隆雄	高11	牛込道雄	高12	岩本峯正	高14	岩田章	高15	櫻井明
境昭彦	高7	広田久	高9	富張勉	高11	石川輝子(三浦)	高12	内田宣子(寺門)	高14	小川幸二	高15	島田仁司
根本信(高橋)	高7	三浦明夫	高9	中村直	高11	遠藤公志郎	高13	大久保薫	高14	野口次男(落合)	高15	染野健二(鈴木)
玉野進	高7	小菅郁子(荒井)	高9	栗原泰男	高11	山中寿一(小野里)	高13	大里保	高14	倉持重男	高15	田島忠
田村宗二	高7	卯木昌子(荒瀬)	高9	野口泰男	高11	金子志郎	高13	大隈靖江(荒井)	高14	野口次男(木村)	高15	立川益信
富張公司	高7	中村武子(石川)	高9	初見一郎	高11	山中寿一(小野里)	高13	大隈初枝(渡辺)	高14	須賀勉	高15	生井修
中島盛	高7	林春江(大森)	高9	八代勝栄(石塚)	高11	木村文夫	高13	大沼初枝(渡辺)	高14	須藤忠	高15	野村好弘
金久保三智夫(中山)	高7	片野スミ子(木村)	高9	岡慶子(岩井)	高11	倉持健	高13	荻原修(本島)	高14	中村亨	高15	橋本國彦
野口盛太郎	高7	染谷澄子(齊藤)	高9	二宮紀子(粕谷)	高11	相良貞夫	高13	金子次郎	高14	服部光俊	高15	初見登美夫
野口正行	高7	阿部淑子(立川)	高9	鈴木雅子(小松原)	高11	白石健	高13	菊地久	高14	梅田正子(池上)	高15	門谷茂
初見貞夫	高7	山本恵子(野口)	高9	坂本敏子	高11	染谷哲夫	高13	木村道夫	高14	熊谷ひさ子(小島)	高15	中野政三(山中)
樋崎成彰	高7	坂本洋子(藤谷)	高9	大森みどり(鈴木)	高11	初見延男(染谷)	高13	生井勝海	高14	新谷松三	高15	吉田和宏
前田利夫	高7	小野久子(渡辺)	高9	青木義雄	高11	生井勝海	高13	新谷松三	高14	片倉京子	高15	山崎美枝子(飯塚)
宮田秀作(増田)	高7	伊東仁子(木村)	高9	齋藤寿	高11	野村貞博	高13	小菅正男	高14	田中弘子(木塚)	高15	石川美枝子
生井淑子(阿久津)	高7	鈴木高雄	高9	飯塚弘道	高11	野口正	高13	相良忠生	高14	宮下由美子(小沢)	高15	広見恵子(五十畑)
風見清子(金久保)	高7	染谷一夫	高9	飯田信吾	高11	野口貞博	高13	佐怒賀義文	高14	恒田ミドリ(間中)	高15	鈴木久子(金久保)
井上智子(風見)	高7	林一進	高9	島田まさ子(落合)	高11	本谷浩	高13	篠塚動緒	高14	田村卓雄	高15	倉持トシ子(菊地)
井上節枝(国府田)	高7	井上岩三(稲毛田)	高9	飯塚弘道	高11	松沼茂	高13	篠塚大樹	高14	生井衛	高15	倉持トシ子(菊地)
是枝綾子(諏訪)	高7	江原亨	高9	風見征治	高11	山村忠夫	高13	篠塚大樹	高14	落合菊之助	高15	倉持富美子(杉原)
野口恵子(立川)	高7	大沼健一	高9	栗原勇男	高11	鶴見昭子(黒田)	高13	染谷忠男	高14	齊藤政一	高15	大原絹江(中西)
村瀬昭子(村田)	高7	大坂忠量(榎場)	高9	鯉沼兆男	高11	内藤栄子(桜井)	高13	高島良一	高14	津山忠雄	高15	木村茂
大越民子(渡辺)	高7	木村正夫	高9	齊藤由雄	高11	中村富子(島田)	高13	田沼静夫	高14	本谷茂	高15	橋本裕光(岡田)
落合潔	高7	倉持秀明	高9	山川勇(袖山)	高11	伊原知位子(和田)	高13	鶴見由紀恵	高14	初澤征子(仲村)	高15	落合満
飯田凱通	高8	栗田幸一	高10	染谷端之	高12	江原邦	高13	中川祐聖	高14	荒井宏雄	高15	金井庄平
梅田典男	高8	小林恒雄	高10	田中正気	高12	川辺充雄	高13	中川隆子(山下)	高14	江原忠利	高15	柿沼政明
風見政勝	高8	駒橋敏行	高10	鶴見光成	高12	野村敏夫	高13	中川祐聖	高14	海老澤滋	高15	倉持敏活
鹿久保久	高8	柴崎弘	高10	中荻岩男	高12	篠原敏子(篠原)	高13	中川隆子	高14	大場孝男	高15	逆井信義(倉持)
鈴木新平	高8	中田勇士	高10	野口修平	高12	篠原敏子(篠原)	高13	中川隆子	高14	川上清	高15	黒瀬信五郎
中山守朗	高8	森田知廣	高10	堀江進	高12	落合純子(田上)	高13	中村正己(加藤)	高14	小島勝彦	高15	齊藤治男
野口図書	高8	木村節子	高10	堀江進	高12	萩田弘子(平川)	高13	中山久子	高14	野村昌惟	高15	佐野俊導
山中忠男	高8	金久保照子(木村)	高10	堀江進	高12	青木古致	高13	長谷川邦子	高14	林和子	高15	篠崎光市
小河内春枝(押田)	高8	頓宮逸子(齊藤)	高10	柳澤礼子(飯島)	高12	青山由紀子(桜井)	高14	原まさい(粕川)	高14	張替信義	高15	菅井修
栗田智子(山田)	高8	鶴見敏江(高崎)	高10	柳澤礼子(飯島)	高12	池澤真知子(渡邊)	高14	船橋正司	高14	張替洋伸	高15	霜田文夫
田続久雄	高8	富山清子(鶴見)	高10	印出操(石塚)	高12	石塚恵子	高14	船橋正司	高14	渡辺昇	高15	多田一男
鳩見道夫	高8	白石登美子(張替)	高10	鈴木愛子(板垣)	高12	石塚恵子	高14	船橋正司	高14	張替洋伸	高15	鈴木好
荒井信夫	高8	行川征子(張替)	高10	鈴木愛子(板垣)	高12	石塚恵子	高14	船橋正司	高14	張替洋伸	高15	鈴木好
忍田久夫	高8	石黒悦子(吉田)	高10	鈴木愛子(板垣)	高12	池澤真知子(渡邊)	高14	船橋正司	高14	張替洋伸	高15	鈴木好
岡野博	高8	和田節男(木村)	高10	倉持功子(加藤)	高12	石井昭子(木村)	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	中岡孝
落合征四郎	高9	五島恒夫(鈴木)	高11	岡百代(齋藤)	高12	石井定四郎	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	土堂義雄
倉持靖	高9	関根弘二(鈴木)	高11	中島帯子(多田)	高12	石塚昭雄	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	中岡孝
倉持直一	高9	鈴木幸孝	高11	安部英子(立川)	高12	石塚昭雄	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	中岡孝
高塚秀夫	高9	鈴木幸孝	高11	高井栄子(田辺)	高12	石塚昭雄	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	中岡孝
鈴木重雄	高9	関義治	高11	今井栄子(鶴見)	高12	石塚昭雄	高14	古谷宏	高14	増田実	高15	中岡孝
田上喜男	高9	塚田平	高11	小沢恵美子(鶴見)	高12	板垣幸子	高14	森久	高14	山崎正男	高15	長谷川好男
						板垣武	高14	飯田慎	高15	齊藤昭代(三上)	高16	樋崎成俊

増田景一	高18	野村みつゝい(野口)	高19	齊藤きよみ(船橋)	高21	佐怒賀美智子(木村)	高25	倉持浩行	高27	倉持佐登子(稲垣)	高29
松浦貞夫	高18	野口芳枝(野口)	高19	飯島英男	高21	飯島英男	高24	木村玲子	高25	岩崎喜代美(岩崎)	高29
宮本卓也	高18	深井慶子(蓮見)	高19	荒井幸男	高21	伊佐法宏	高24	小森紀子(串間)	高25	金久保一美	高29
吉原建治	高18	岡裕子(初見)	高19	江原柳	高22	落合秋男	高24	籠野敬子(佐藤)	高25	稲葉秀子(栗田)	高29
若旅久	高18	黒須千恵子(船橋)	高19	金子充夫	高22	金澤正	高24	山口幸子(篠塚)	高25	鈴木京子	高27
和田新二郎	高18	大島美喜雄	高19	榎場勲	高22	北島正敏	高24	糸賀ふみ子(高木)	高25	根本美佐子(関根)	高27
石川直子	高18	小島重男	高19	榎田貞男(神原)	高22	逆井一	高24	守宏子(田村)	高25	小森谷衣子(中山)	高27
大野良子(石川)	高18	齊藤茂	高19	鈴木久雄	高22	榎井定男	高24	関邦子(弦巻)	高25	木村明美(初見)	高27
野口文子(大森)	高18	細谷源明	高19	関岩夫	高22	霜田勝保	高24	高木富江(中村)	高25	合田春男	高27
岡田ヨシ子	高18	落合茂	高19	染谷薫	高22	染谷卓男	高24	三ツ泉道子(中村)	高25	青木正人	高27
堀脇綾子(織原)	高18	柿沼敏行	高19	染谷俊一	高22	塚田昇	高24	大熊美代子(中村)	高25	猪瀬岳資	高27
福田志ん(小島)	高18	櫻井智照	高19	田中茂	高22	野口憲三	高24	幾野千恵子(中山)	高25	中島為男(忍田)	高27
外山うめの(篠塚)	高18	柴崎喜芳	高19	野口晴男	高22	野本健	高24	関塚さち子(野口)	高25	柿沼幹男	高27
前田弘子(高島)	高18	五月女猛	高19	野永茂	高22	河崎絹代(新井)	高24	稲毛田孝子(野口)	高25	相良仁美	高27
渡辺美江子(塚原)	高18	横島久雄(染谷)	高19	野道正之	高22	倉持昌子(飯田)	高24	内山光雄(大谷)	高25	島田弘光	高27
寺門まり子(寺門)	高18	千葉等	高19	野村光造	高22	五十嵐千代子	高24	柴崎洋子(半村)	高25	鈴木章司	高27
弥八八重子(中村)	高18	野村竹志(藤井)	高19	森田信司	高22	針谷君子(加藤)	高24	関根良子(和田)	高25	関正雄	高27
平田由紀子(林)	高18	齊藤陽子(中村)	高19	山中国三郎	高22	上山君子(上山)	高24	青木明男	高25	本谷泉	高27
村田よし子(平川)	高18	橋本洋子	高19	野村玲子(青木)	高22	福地好江(関)	高24	赤荻進一	高25	増田保	高27
福島弘子	高18	大野とも子(松本)	高19	山崎はる子(倉持)	高22	須賀好江(関)	高24	石山巖	高25	松本英樹	高27
古谷博子	高18	新井順	高19	内海寿子	高22	八幡ふき子(鶴巻)	高24	猪瀬忠男	高25	武藤幸一	高27
宮原藤江(山田)	高18	相沢勝司	高19	坂巻妙子(染谷)	高22	大瀧緑(塚原)	高24	須賀好江(関)	高25	小西圭子(石川)	高27
飯塚栄	高18	青木忠司	高19	神原みゆき(田中)	高22	八幡ふき子(鶴巻)	高24	上野三喜夫	高25	川崎洋美(石塚)	高27
岩岡政男	高19	海老島正昭	高20	千葉道子(根本)	高22	松本敬子(土井)	高24	五島勇	高25	鈴木弘子(稲葉)	高27
宇都木章	高19	忍田悦志	高20	木村美智子(山中)	高22	野口衣子	高24	関野幸市	高25	岸本清子(海老沢)	高27
大久保修	高19	落合順二	高20	三ツ泉正夫	高22	須賀圭子(野口)	高24	田西達也	高25	牧野初江(金久保)	高27
黒須行雄	高19	小林正	高20	梶野栄	高22	石塚房子(野口)	高24	塚田清	高25	中村和子(神崎)	高27
佐怒賀静一	高19	越沼玄(鈴木)	高20	高谷勝己	高22	松実三枝	高24	新谷友康	高25	海老原真弓(鈴木)	高27
島田恭一	高19	関口敏雄	高20	島田英章	高22	宇都木稔	高24	野口久雄	高25	古川好子(中田)	高27
田村景司	高19	筑井正	高20	中山豊	高22	鶴見勝男	高24	関井利徳(増田)	高25	金久保恵美子(奈良)	高27
原口章	高19	中村英司	高20	野口進	高22	塚原順子(飯田)	高24	青木和之	高25	中村とし(野口)	高27
谷田貝多吉	高19	根芝泰治	高20	淵岡孝久	高22	片岡誠	高24	鈴木敬正	高25	長谷川澄子(荒井)	高27
川崎成代(青木)	高19	根本和也	高20	若宮恵(石川)	高22	田中寿彦	高24	中沢茂	高25	野永三重子(逆井)	高27
田村久子(荒井)	高19	大浦修二(蒔田)	高20	倉持律子(石綿)	高22	福島勝	高24	守弘	高25	我妻吉子(知久)	高27
細谷春枝(猪瀬)	高19	森誠	高20	高安志子(稲垣)	高22	米山宗憲	高24	萩原礼子(大野)	高25	藤貫きぬい(中村)	高27
北田政子(宇都木)	高19	若旅武	高20	押川真つえ(稲田)	高22	守弘	高24	萩原礼子(大野)	高25	生井香代子	高27
矢萩和子(大柳)	高19	和田孝行	高20	大久保鏡子(木村)	高22	福島勝	高24	米山宗憲	高25	藤貫きぬい(中村)	高27
小野里みち子	高19	和田澄子(荒木)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
植村みつえ(斎藤)	高19	吉田恵子(木村)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
内田慶子(桜井)	高19	大入直子(鈴木)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
島田幸子(島田)	高19	亀田節子(寺内)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
島田あや子(鈴木)	高19	河内あさ子(橋本)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
大島節子(田村)	高19	野村恵子	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27
月館豊子(知久)	高19	高橋くみ子(林)	高20	大久保鏡子(木村)	高22	守弘	高24	米山宗憲	高25	生井香代子	高27

知久達也	高32	井上昌代(金久保)	高35	小林珠美	高39	吉溪真佑華	高66	羽部純也	高68
生井郁夫	高32	黒沢寿子	高35	佐古唯樹子	高39	島田誠之	高66	関根香菜	高68
根本哲	高32	近藤裕子	高35	長野静江(関)	高39	横島正之	高44	高木美穂	高68
針替直哉	高32	高橋佳緒里	高35	野中則子	高39	岡野玲子(関根)	高44	山内恵佑	高67
宮田美	高32	新井恵美子(知久)	高35	石川忠司	高40	野仲祐子	高44	青柳咲貴	高67
平岩光江(赤荻)	高32	浅賀美香(船橋)	高35	木村正	高40	平田一恵	高44	岩崎敦子(渡邊)	高67
岡野清美(木村)	高32	上杉佳代子(本田)	高35	鯉淵清晃	高40	竹村和男	高44	齋藤正浩	高67
及川和子(佐山)	高32	Kummenacher	高35	鈴木健司	高40	石塚秀男	高44	星山裕子(染谷)	高67
田中まり子	高32	ちい子(水越)	高35	西田勝彦	高40	露見昌一	高44	栗原聡志	高67
八代律子(鶴見)	高32	菊地英明	高35	野村佳史	高40	永島一喜	高44	小方あゆみ(染谷)	高67
岸本浩美(長野)	高32	青木進(島田)	高36	宮内聡	高40	並木淳一	高46	永塚由貴	高67
市村篤史	高33	本谷悟	高36	吉澤哲也	高40	小川博美(内田)	高46	倉持典恵	高67
稲垣義幸	高33	峰俊二	高36	吉田隆	高40	前田千尋(甲斐)	高46	望月自由里	高67
岡田英二	高33	桑原えみ(石川)	高36	船橋信子(稲垣)	高40	瀧本和行	高46	木村光希	高67
島田淳	高33	金山孝子(岸本)	高36	青木裕子(斎藤)	高40	台純一	高47	倉持聡子	高67
染谷光則	高33	小霧由美	高36	関口順子(中村)	高40	中澤賢治	高47	落合桃子	高67
中村裕次	高33	大野君子(二宮)	高36	遠藤宏志	高41	門井美穂(齋藤)	高47	倉持浩司	高67
長野正明	高33	飯田勝利	高37	大谷博明	高41	猪瀬正紀	高47	野口智史	高67
松崎和人(松崎)	高33	高木渉	高37	鈴木嘉彦	高41	海老原忠広	高48	中村友香	高67
峰暢宏	高33	海老澤美千代(木村)	高37	播岡秀和	高41	篠崎智洋	高48	染谷貴文	高67
平川和子(河口)	高33	間中清美	高37	渡邊政弘	高41	並木伸仁	高48	染谷智恵美	高67
中村節子(小菅)	高33	阿知和浩	高37	坂本佳子(斎藤)	高41	星澤哲也	高48	水越久也	高67
染谷宮子	高33	柿沼雄一	高38	高島直子	高41	江澤哲也	高48	大坂航平	高67
野澤洋子	高33	中村久男	高38	馬場美和子	高41	関口光一	高48	大野智史	高67
片倉政美(関根)	高33	馬場裕志	高38	鯉淵滝登	高41	森田智子(塚本)	高49	関山あさみ	高67
岡崎孝夫	高34	松田昌宏	高38	小林雄一	高42	川勝ゆう子(福嶺)	高49	内海峻	高67
金沢正樹	高34	武笠義彦	高38	鈴木和孝	高42	古沢広徳	高49	菊池徹	高67
菊地正芳	高34	吉澤靖	高38	瀬田和也	高42	田村英樹	高50	鈴木雄介	高67
幸田義浩	高34	江原昌代	高38	沼田剛	高42	板子誠	高50	関櫻	高67
海老根剛(小林)	高34	湯本弘子(倉田)	高38	野本英男	高42	三島喜美子(佐々木)	高50	長野睦	高67
児矢野英明	高34	関清美(野口)	高38	古矢登志樹	高42	佐々木咲子(坪井)	高50	飯田久士	高67
重田親宏	高34	上原一浩	高39	三富博也	高42	関根和人	高51	石川徹	高67
藤井久弘	高34	相良光二	高39	赤荻香織	高42	中村哲久	高51	金久保将大	高67
程田均	高34	津山薫	高39	飯田真理子	高42	塚原佑子	高52	青木崇浩	高67
山口豊	高34	中山一美	高39	中田美紀(細島)	高42	佐藤綾乃	高52	根本柚香	高67
柿沼みどり(平林)	高34	二宮努	高39	大島浩行	高43	福島啓文	高52	小松原理沙	高67
井上聡	高35	野口富太郎	高39	木村信仁	高43	吉葉裕子(染谷)	高52	和野裕貴	高67
生出文男	高35	長谷川知広	高39	倉持和史	高43	木村裕美	高52	大野秀介	高67
横嶋英夫(小竹)	高35	増田耕治	高39	鈴木嘉之	高43	太田美香(渡部)	高53	馬場友里菜	高67
宮崎和宏(土田)	高35	増田智博	高39	鈴木達也	高44	岡村未央	高53	山下翔平	高67
並木俊一郎	高35	阿知和まや(遠藤)	高39	濱谷敏	高44	小野愛	高53	飯島僚	高67
湯本明広	高35	石井克子(大沼)	高39	原田昌寛	高44	望月祥司	高54	高木勇樹	高67
石川敏子(石塚)	高35	大里智佳子(小川)	高39	本谷知成	高44	松井友里江(新谷)	高54	矢倉舞美	高67

編集後記

自営業を営む私は、仕事で土地の境界杭を入れるための穴を掘ったり、固い地面に杭を打ち込む作業をすることがあります。還暦を過ぎて4年が経とうとしている最近では、力仕事の後など特に、「この仕事も70歳までかな」となどと弱気な考えが浮かぶようになってきました。

しかし、ご投稿いただいた先輩方の素晴らしい生き方や、若い同窓会会員の皆さんの頑張っている姿を拝見し、「年齢など実は関係ないのだ」と、改めて気を引き締めているところです。

今回も、ご協力ありがとうございました。
同窓会監査 木村 泰之



関龍一	高68	和田獎平	高69
飯塚翔大	高68	三浦早織	高69
木塚智大	高68	小宮郁巳	高69
関樹里(海老原)	高68	長野智也	高69
飯田瑞穂	高68	岩田啓吾	高69
針替美穂	高68	岩瀬拓巳	高69
田中慧	高67	高崎達也	高69
齊木玲	高67	小川未来	高69
飯田秀平	高67	及川尚純	高69
竹村佳英	高67	馬場由美香	高69
飯田秀平	高67	湯本麻友	高69
榎圭太	高67	篠崎蒼生	高69
中山茜	高67	高木美穂	高68
小島陵	高67	関根香菜	高68
岩瀬沙耶	高67	山内恵佑	高67
生井裕脩	高67	青柳咲貴	高67
小島沙月	高67	山野遼佑也	高67
小川知哉	高67	寺内恵佑	高66
岩瀬正浩	高66	島田誠之	高66
星山裕子(染谷)	高66	荒川智弘	高65
栗原聡志	高66	中田智久	高65
小方あゆみ(染谷)	高66	福島理恵	高65
永塚由貴	高66	岩崎敦子(渡邊)	高65
倉持典恵	高66	齋藤正浩	高65
望月自由里	高66	星山裕子(染谷)	高65
木村光希	高66	栗原聡志	高65
倉持聡子	高66	小方あゆみ(染谷)	高65
落合桃子	高66	永塚由貴	高65
倉持浩司	高66	倉持典恵	高65
野口智史	高66	望月自由里	高65
中村友香	高66	木村光希	高65
染谷貴文	高66	倉持聡子	高65
染谷智恵美	高66	落合桃子	高65
水越久也	高66	倉持浩司	高65
大坂航平	高66	野口智史	高65
大野智史	高66	中村友香	高65
関山あさみ	高66	染谷貴文	高65
内海峻	高66	染谷智恵美	高65
菊池徹	高66	水越久也	高65
鈴木雄介	高66	大坂航平	高65
関櫻	高66	大野智史	高65
長野睦	高66	関山あさみ	高65
飯田久士	高66	内海峻	高65
石川徹	高66	菊池徹	高65
金久保将大	高66	鈴木雄介	高65
青木崇浩	高66	関櫻	高65
根本柚香	高66	長野睦	高65
和野裕貴	高66	飯田久士	高65
大野秀介	高66	石川徹	高65
馬場友里菜	高66	金久保将大	高65
山下翔平	高66	青木崇浩	高65
飯島僚	高66	根本柚香	高65
高木勇樹	高66	和野裕貴	高65
矢倉舞美	高66	大野秀介	高65